

クロフネサイシン

Asarum dimidiatum

ウマノスズクサ科

カテゴリー

大分県 〓

環境庁 〓



種
子
植
物

低山地や山地の沢沿いの林縁や林内に生える草丈15cmほどの多年草。葉は全縁の円心形で長さ4～6cm，基部は深い心形となる。4～5月，葉陰にかくれるように地ぎわに短い花柄を出し，先が3裂する扁球形の紫褐色の花を横向きに普通2個つける。雌しべの柱頭は3，雄しべは普通6。県内の生育地は，北西部から南西部にかけての，山地や低山地に点在し，個体数は少ない。林縁の生育地では，植生遷移の進行で生育状態が悪くなった所がみられ，減少や消滅が懸念される。

(写真：辻 寛文 文：阿孫久見)

県内分布 英彦山・犬ヶ岳山地，九重火山群，由布・鶴見火山群，大分川・大野川丘陵地，祖母・傾山地，北川上流域

分布域 四国，九州（福岡・熊本・大分・宮崎）